

Kinsa Kawabata VI

Lacquer Art Exhibition
at Midorigaoka Art Museum
in Nara, Japan



「漆、茶の湯の風雅」



六代川端近左 展

2025年1月8日(水)~3月2日(日)

〔開館日〕 水・木・土・日曜日 11:00~16:00 (入館は15:30まで) ● 入場無料

〔休館日〕 月・火・金曜日

〔会 場〕 緑ヶ丘美術館・本館 → 〒630-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘 2731-10

〔U R L〕 <http://mam-museum.com> <お問い合わせは FAX で: FAX. 0743-85-7880>

MAM

Midorigaoka Art Museum

緑ヶ丘美術館



桐竹蒔絵朱金大棗

Kinsa Kawabata VI

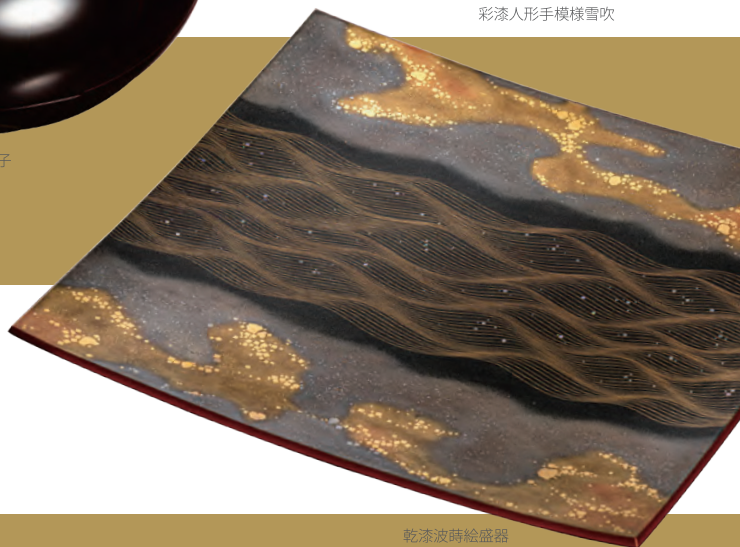
Lacquer Art Exhibition
at Midorigaoka Art Museum
in Nara, Japan



溜塗雷合子



彩漆人形手模様雪吹



乾漆波蒔絵盛器



青貝蛸香合



亀蒔絵大棗



朱金桜蒔絵大棗



松竹蒔絵翠色大棗

茶方の漆匠、川端近左 茶人に好んでいただく漆の茶道具

漆匠 近左の名跡を継ぐ六代川端近左。本名は川端一价（かわばたかずよし）。

歴代近左は、その磨き上げられた蒔絵・螺鈿の技法と洗練された意匠で

茶道三千家に好まれ、茶の湯の茶方として二百年の歴史を有する由緒ある漆芸の家系。

客人をもてなす「茶の湯」が重んじられるのは、亭主と客人との精神性や思考、作法。

そして、そのための茶道具や茶室、庭など完璧なまでの審美性と品性。

人々が寄り合って茶の湯や香や花、文芸などを美しく好む。これが茶の湯。

この奥深き美の探求に込めるのが六代近左の漆。

緑ヶ丘美術館・令和七年、新年の幕開けは、六代川端近左展「漆、茶の湯の風雅」から。

歴代近左の漆芸作品と併せて、新春を彩る日本の美をご紹介します。



【略歴】 ◎六代川端近左（かわばた きんさ）：本名 一价（かずよし）

昭和 22 年（1947 年）大阪市に生まれる。五代の長男

大阪市立工芸高校（日本画科）、京都市立芸術大学（塗装科）卒

冬木偉沙夫氏に師事、木地作りから加飾まで基礎を学び、卒業後父に師事する

卒業後はしばらく工芸会にも所属していたが、次第に家業の茶方として漆の茶道具制作に専念する

平成 12 年 六代 近左を襲名

平成 13 年 高島屋京都店・横浜店にて襲名記念作品展

平成 14 年 高島屋東京店・大阪店にて個展を開催

三千家各お家元宗匠に襲名記念の作品を好んでいただく

以後各地で個展を開く

M.A.M

Midorigaoka Art Museum

緑ヶ丘美術館

